

住田町人口ビジョン・総合戦略・総合計画の取組状況

平成 29 年 2 月 20 日

住田町企画財政課

1. 趣旨

「住田町人口ビジョン・総合戦略・総合計画」（平成 27 年度～平成 31 年度）における基本目標や重要業績評価指数（K P I）の現時点での達成状況を示すものです。

2. 基本目標の達成状況

- (1) 子どもの数は、小学校 2 校を維持することを目標に設定し、複式学級を回避するため 1 学年 20 人、2 校で 40 人を確保

目標指標	児童数（1 学年）
目標値	40 人/年（H31） 内訳＝出生数 31 人＋移住者 9 人
実績値	27 人（H27）※
到達率	62.5%

※実績値は、平成 28 年 3 月末日現在の 0 歳児の人数（計画策定時の現状値は出生数）

- (2) 生活圏内で必要な買い物等の生活・交通・医療の利便性が図られる環境整備

目標指標	住民満足度の向上		
	買物	道路交通	医療
目標値	50%（H31）	50%（H31）	50%（H31）
実績値	9.8%（H28）	19.4%（H28）	10.9%（H28）
到達率	19.6%	38.8%	21.8%

- (3) 町内にいながらできる“しごと”があり、その仕事で生活できる収入・賃金を確保

目標指標	町民所得
目標値	2,553 千円（H31）
実績値	2,255 千円（H26）※
到達率	88.3%

※計画策定時の現状値が H25 であるため H26 を記載

2. K P I の達成状況

目標	目標指標	目標値 (H31)	実績値 (H27)	到達率
(1)	婚姻数	20 組/年	14 組	70.0%
	出生数	31 人/年	25 人	80.6%
	合計特殊出生率	1.50	1.28	85.3%
	社会増減	±0 人/年	△48 人	-
	移住者数	45 組 135 人/5 年	7 組 15 人	11.1%
(2)	商店数	50	56	112.0%
	(うち移動販売・買物代行)	10	7	70.0%
	小売店売上高※1	3,355 百万円	3,050 百万円	90.9%
	小さな拠点での地域活動	5	0	0%
	生活・交通・医療満足度	50%	基本目標のとおり	-
(3)	製造業売上高※2	16,602 百万円	15,093 百万円	90.9%
	(うち木材木製品業) ※2	9,000 百万円	7,751 百万円	86.1%
	(うち食品製造業) ※2	6,558 百万円	5,962 百万円	90.9%
	農林業売上高※2	3,432 百万円	3,120 百万円	90.9%
	商工業売上高※2	5,407 百万円	4,916 百万円	90.9%
	就業支援による新たな雇用	25 人/5 年	4 人	16.0%
	交流人口	150,000 人	88,191 人	58.8%

※1 商業統計調査の次回成果は H28 であるため、H26 の値を記載

※2 経済センサスー活動調査の H28 成果が未公表のため、H24 の値を記載

3. 重点施策の取組状況

(1) 産み・育てる世代の人口増加対策

【概況】

○結婚支援の強化

- ・結婚相談員5名を委嘱し、相談会やイベントを開催するなどしていますが、なかなか結婚に結び付いていません。
- ・結婚や出産を困難にしている課題について来年度アンケート調査を実施し、課題に沿った対策を検討していきます。

○子ども・子育て世帯への経済的支援の充実

- ・医療費、保育料、住田高校の通学費等の無料化等については対象者のほぼすべての方に利用していただいています。
- ・不妊治療については特定不妊治療のみ利用実績がありますが、一般不妊治療、男性不妊治療、不育症治療は実績がなく、来年度は周知を工夫していきます。

○子育て支援拠点の充実

- ・土曜保育の終日延長については、本年度試行実施中で、来年度から本格実施に移行する予定です。
- ・生後8週経過後からの乳児保育は、現在世田米保育園に必要な部屋の増築工事を実施しており、来年度完成し保育士が確保され次第実施する予定です。

(2) 交流人口の増加対策

【概況】

○種山ヶ原の観光価値の向上

- ・栗木鉄山跡の国指定化に向けては、調査指導委員会を開催しているところですが、今後、内容確認調査や報告書の作成を経て、平成33年度に国指定申請する予定です。
- ・世田米町家群の国登録文化財等の指定については、旧菅野家住宅及び土蔵群（まち家世田米駅）が、文化審議会から登録の答申があったところですが、今後指定に向けて順次調査を進めていく予定です。
- ・観光DMOの創設については、現在町観光協会が検討会等を開催しているところで、今後関係機関の間での議論を含め組織化を進めていきます。
- ・観光起業支援制度創出については、起業奨励金制度を平成28年度に創設したところであり、今後ルート設定等を通して担い手となる事業者の発掘、育成に努めていきます。
- ・産業体験学習観光については、現在観光DMOの創設に向けた検討会等を

通して内容の検討を進めているところです。

○ I L C 北上山地設置関連施策

- ・ **子育て支援**については3ページ(1)に記載のとおりです。
- ・ **教育振興**については、ネイティブスピーカー2名を配置し、町内の子供たちの国際感覚を養う取り組みを進めているほか、森林環境教育など、住田らしい魅力ある社会教育の充実に努めているところです。
- ・ **交流人口の増加**については、前段の観光DMO等に記載のとおりです。
- ・ **移住促進**については、空き家・空き地情報バンクによる住まいの情報提供のほか、移住を検討している方には仕事や子育て、医療や介護などの相談にワンストップで対応していますが、目立った移住者の増加にはつながっていません。来年度は、空き家バンクの登録数を増加させ、また、お試し住民制度(一定期間町内に滞在し住田町の暮らしを体験していただくもの)を開始する予定です。
- ・ **特色ある地産地消システムや食施策の確立**については、住民の皆様にも参画していただき住民ワーキングチームなどにおいてアイデアを練るなどし、赤かぶのソースやビスコッティ、国体で販売したすみっこ弁当など、新商品の開発に結び付いてきています。今後は、さらに商品開発を進めるとともに、開発された商品の販売促進に努めていきます。

4. 重点施策を支える各プロジェクトの取組状況

(1) 中心地域活性化プロジェクト

【概況】

○ 利便性にすぐれ安全安心で満足度の高い住環境の提供

- ・ **川向ウッドタウン構想**は、県土地開発公社との打ち合わせを行ったところで、今後事業化に向けた用地の選定や整備方針の検討を進めていきます。
- ・ **昭和橋の維持**については、現在県の河川改修工事に伴い架け替えが検討されており、町としては景観に配慮した整備になるよう県と協議しながら進めていきます。
- ・ **住民交流拠点施設**は、平成28年4月にオープンし、これまで15,000人を超える方々にご利用いただいています。今後は、指定管理者である一般社団法人SUMICAと連携しながら、住民の皆様にも本町を訪れる皆様にもより訪れていただけるような魅力づくりに努めていきます。

○ 中心地域の魅力の向上

- ・ **中心商店街空き店舗支援**については、平成27年度に1件の利用実績がありますが、平成28年度はまだ実績がありません。今後は、産業分野のみならず福祉分野や教育分野などでの活用も視野にいれながら進めていきます。

- ・**集客イベント**は夏まつりや軽トラワゴン市などを実施していますが、今後は住民交流拠点施設や蔵並みなどを活用した多彩な催しの実施に向け検討を進めていきます。
- ・**地産地消による食の提供推進**については、学校給食での食材利用などにも使えるシステム開発を来年度実施します。
- ・**食育プロジェクトの推進**については、3（2）に記載のとおりです。
(検討中であり具体的な実施に至っていない施策)
- ・案内板設置
- ・見どころマップ作成
- ・商店街街路灯LED化
- ・地域内回遊拠点整備

○地域資源の有効活用

- ・**自然広場の整備**である、花の森公園(仮称)と気仙川親水スペースについては、現在検討中で具体的な取り組み実績はありません。
- ・**蔵並みと昭和橋を活かした景観整備**については、景観まちづくりの研修会や講演会を実施し、住民の方や職員の意識の醸成を図っています。
- ・**世田米町家群の国登録文化財等指定**については、3 ページ3（2）に記載のとおりです。
- ・**森林林業の町を彷彿させる街並みづくり**については、木いくプロジェクトの中で木製ベンチや木製案内標識などの設置を検討してきます。

(2) すみたい町創造プロジェクト

【概況】

○定住・移住を促す魅力ある住宅施策の推進

- ・**川向ウディタウン構想**については、4 ページ4（1）のとおりです。
- ・**子育て世代に優しい住宅取得施策**については、本年度住宅建設、住宅リフォームに対する補助制度をリニューアルし、子育て世代への加算を設けることで支援制度を設けました。平成 28 年度に住宅リフォームで 2 件の利用実績があります。
- ・**空き家リフォーム支援**については、来年度空き家をリフォームしたお試し住民用の滞在施設を整備する予定です。
- ・**町並み景観等イメージアップ**については、景観まちづくりの研修等を通して職員のスキルアップを図っているところで、来年度は個々のハード整備について、景観の観点から、有識者の方々のアドバイスをいただきながら役場全体でブラッシュアップを図る中心地域デザイン会議(仮称)を設置する予定です。

(3) 食いくプロジェクト

【概況】

○地域資源を活用した新たな産業の創出と就業機会の確保

- ・ **町産食材の活用**については、すみたっ子給食（年4回）に代表されるように、米飯給食や農畜産物の町産材活用の拡大を図っているところですが、来年度は受発注をオンラインで行えるシステム開発に取り組みます。
- ・ **6次化の推進**については、推進委員会や住民ワーキングチームを通して商品開発に取り組んでいるほか、まち家世田米駅レストラン kersasse において町産食材を活かした料理の提供を開始しています。果樹の拡大については検討中です。
- ・ **地産地消のしくみづくり**については、来年度岩手県立大学と連携し、生産者と利用者との情報共有のための仕組み（システム）づくりを検討します。**新規就農**については、起業に係る経費支援を、国の制度（H28:3件）、町の制度（H28:4件）を活用し実施しています。
- ・ **地域農業拠点づくり**については、農地中間管理事業で現在2.24haの農地が登録されており、これら土地の集約化を図っていきます。**農業の法人化、小規模農業の団体化等**については検討中です。

(4) 木いくプロジェクト

【概況】

○地域資源を活用した新たな産業の創出、就業機会の確保

- ・ **「木の町デザイン」推進**については、有識者にデザイン等のアドバイスをいただきながら、木工での起業に意欲のある方に製作を依頼し、小中学校の机椅子（中学校132組、小学校232組）、新生児への祝い品としてのウッドスタート関連商品（離乳食用スプーン、笛、木琴、貯金箱、知恵盤、パズル、宝箱）を開発しました。今後は木の町にふさわしい商品開発をさらに進めるとともに、開発した商品の販売促進に努めていきます。
- ・ **木製ガードレールや木製ベンチ等の景観にマッチした木製品**については今後開発の予定です。

(5) コミュニティサポート（小さな拠点づくり）構築プロジェクト

【概況】

- ・ **集落支援員**は、平成28年度から5地区公民館に配置済みです。
- ・ **地域おこし協力隊**は、現時点で2地区公民館（世田米、五葉）に配置済み、平成29年3月から1地区（上有住）に配置、4月から残りの2地区（大股、

下有住)に配置の予定です。

- 特定非営利活動法人 wiz や一般社団法人 邑サポートの助言や研修支援等をいただきながら進めています。
- **地域予算制度**については、現在制度設計中です。
- 平成 29 年度には各地区への座談会等を実施し、この仕組みが必要となる意義をご理解いただくとともに、各地区のご意向を確認し、合意が得られた地区から順次進めていきます。